



第 24 回岩手県医学検査学会 開幕



★ プログラム ★

・ 公開講演

「ブラックホール撮影～プロジェクトの舞台裏～」

国立天文台水沢 VLBI 観測所 特任研究員 田崎文得 氏

・ 技術セミナー

ランチョンセミナー I

麻疹の最近の話題-流行状況と感染対策を中心に-

デンカ生研株式会社

ランチョンセミナー II

診断支援システム DSS のご紹介

研修会等のご案内

【日臨技北日本支部 生物化学分析部門研修会】

内容：『精度管理から質管理へ～新・臨床検査技師を目指して～』

日時：令和元年9月14日(土)13:00～9月15日(日)12:00

会場：秋田大学医学部附属病院 2F 多目的室

定員：80名

参加費：会員 5,000円 賛助会費 5,000円 非会員 6,000円

日臨技生涯教育点数：専門教科 30点

認定更新指定研修会：認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度更新 10単位
(A+B)

【日臨技北日本支部 生理機能検査部門研修会】

内容：『小児から高齢者まで生理検査が貢献できること』

日時：令和元年9月21日(土)13:30～9月22日(日)12:40

会場：秋田大学医学部 医学系研究棟 3F 総6講

定員：120名(事前申込み)

参加費：会員 7,000円 非会員 9,000円

日臨技生涯教育点数：専門教科 30点

【日臨技北日本支部 血液・染色体・遺伝子検査部門合同研修会】

内容：『血液・遺伝子染色を究める！～基礎から応用まで～』

日時：令和元年9月28日(土)14:00～17:00

会場：市立札幌病院 2階 講堂

定員：60名(先着順受付、定員になり次第締切)

参加費：会員 8,000円 非会員 10,000円

日臨技生涯教育点数：専門教科 30点

【日臨技北日本支部 輸血細胞治療部門研修会】

内容：『輸血検査の基礎と異常反応への対応 臨床への報告まで』

日時：令和元年11月23日(土)13:00～11月24日(日)14:30

場所：公立大学法人福島県立医科大学

定員：50名(定員になり次第締切)

受講料：会員 10,000円(参加は日臨技会員に限る)



(い わ て)

日臨技生涯教育点数：専門教科 30 点

【第 8 回東北 CVT 会開催のご案内】

テーマ『動脈硬化を知る！診る！』

日時：令和元年 10 月 19 日（土）13:00～16:20（受付 12:30～）

会場：いわて情報交流センター アイーナ 8F 804 会議室

対象者：医療従事者（血管診療に興味がある方 CVT でなくても結構です）

参加費：無料

CVT 認定単位：参加 4 単位 発表 2 単位

日臨技生涯教育点数：専門教科 20 点

【第 8 回北日本支部医学検査学会】

テーマ『不滅の法灯～臨床検査をさらに明るく～』

日時：令和元年 10 月 5 日（土）～10 月 6 日（日）

会場：山形テルサ・霞城セントラル

*** 各研修会・学会の詳細は HP 等でご確認ください**



研修会参加報告

7月20日（土）盛岡中央消防署本署で開催されました第70回盛岡地区研修会『AEDを用いた応急手当講習（普通救命講習Ⅱ）』～成人に対する心肺蘇生法やAEDの知識と実技に



関する講習～に参加した山本遥さんから感想をいただきましたのでご紹介いたします

第70回盛岡地区研修会
AEDを用いた応急手当講習
(普通救命講習Ⅱ)を受けて

盛岡赤十字病院 山本遥

第70回という記念すべき盛岡地区研修会でした。

私は以前に1度だけ救命処置の講習会を受けた

経験がありましたが、正しく行える自信がなかったため受講しました。曖昧であった手順や気をつけるべきポイントを再確認することができ有意義な時間となりました。

胸骨圧迫などの救命処置を行うことでより傷病者の回復率が高くなるという事は何となく把握していたつもりでしたが、1か月後の社会復帰率は18.9%なのに対して救急隊が到着するまでの間に一般市民がAEDを行った場合は43.3%の約2.3倍にまで跳ね上がるという具体的な数値を知ることで救命処置の重要性を改めて理解することができました。

講習会では訓練用の人形を相手に救命処置を行うため冷静に対応して実施できましたが、実際に目の前で意識の無い人が倒れていたらここまで冷静に対応できるか自信はありません。自信を持って救命できるようになるためには、1度講習会を受けただけで理解できたと満足せず、これからも定期的に繰り返し講習を受けることが重要であると思います。臨床検査技師は医療に携わる職業でありながら普段の業務では直接患者さんを救うというシーンはなかなか少ないものですが、

胸骨圧迫やAEDを用いるなどの処置は医者や看護師でなくとも直接この手で苦しんでいる人を救う事が出来る1つの手順です。

私の周りの人へも救命処置の知識を伝えて大切な人を守れるよう、そして医療従事者として



迷わず動いて助けることのできる人間になりたいと思います。

令和元年度第 2 回理事・部門長合同会議議事録

日時：令和元年 7 月 13 日（土曜日）

場所：岩手医科大学附属病院循環器医療センター3 階研修室

出席者：行森良一、菊池英岳、畠山秀樹、川村将史、宮本祥一、下川波歩
熊谷正邦、高橋庸一郎、高橋一博、中沢和浩、成田和也、小田原聖、
舘野幸枝、小野寺奈緒、小原丈裕、小野寺絵美

はじめに（行森）

今年度は地区役員・部門長等の入れ替わりがありました。来年の北日本学会は岩手が担当となります。秋口から学会の視察等で忙しくなると思いますが、ご協力のほどよろしく
お願いいたします。

I 報告事項（行森）

1) 令和 1 年度 日臨技定時総会について

日臨技の宮島会長が財務大臣の政務官に就任したこともあり、これからは横地副会長が代行
ということで日臨技の運営等を行っていく。

今回の総会で承認された内容としては日臨技入会資格の変更があり、今年度からは日臨技に
入会する際は都道府県の技師会にも入会するようになった。理事の定款の変更があり、理事の
定数を 3 名以上 56 名以内とすることとなった。

2) 北日本支部について

来週北日本支部の幹事会が行われるため、北日本支部の研修会については暫定的に決まっ
ている。秋田県で行われる微生物部門研修会は 11/30・12/1 で決定した。北日本の部門長も
暫定的に決定している。岩手県の部門長の変更は、遺伝子検査部門・血液検査部門・生理検査
部門・病理細胞部門となっている。

3) 日本臨床検査技師連盟

今月参議院議員選挙が行われ、自民党比例区から小川しんじ氏が立候補している。

II 各事業について

1) 総務部（菊池）

今年度も会員の親睦を深められる企画を考えています。皆さんからも案があればお願いします。

2) 学術部（畠山）

(い わ て)

今年度の各地区総会、研修会等例年通り行われている。精度管理事業についても、昨年度同様に行っていく予定。岩臨技学会は11/17 中部地区担当で行う。

3) 公益部 (川村)

9/8に行われるあっぴりレーマラソンでは、参加者を募集し10名の参加者登録を行う。大腸がん予防啓発のための配布物を栄研に依頼している。別会社のがん予防啓発トイレトペーパーも検討中。現在も走者以外のスタッフは募集中。

検査と健康展は11/3に決定し、コープー関コルザで検討中。7/15に南部地区事務局の川嶋さんと盛岡地区の三田さんと3人で、休日の会場の様子を見に行く。ポスター等は今後検討。

(宮本)：あっぴりレーマラソンの大腸がん予防啓発運動について。私は去年から県の大腸がん部会の役員をしているので、県に要望等あればお伝えします。

(川村)：ペンなどのPRグッズがあればありがたい。配って手元に残るようなものが必要。

4) 生涯教育 (宮本)

先日、サイボウズに研修会の申請の流れを載せた。20事業までは日臨技からの助成がうけられる(1か月前までの申請、1か月以内の決算報告が条件)。申請書はHPとサイボウズで見られるようにしていく。

5) 事務局 (下川)

今月の参議院議員選挙に小川しんじ氏が立候補しており、投票の依頼を行った。技師会連盟加入をお願いしたい。いわてピンクリボンフェスタへの寄付はしない。地域ニューリーダー育成研修会は川村将史氏か畠山裕司氏が対象者ですが、本人の予定が合わない場合は該当者なしで日臨技へ報告する。

発行物については、会報を送るタイミングで8月・10月・12月・1月・4月の月末に発送。各施設に送付する資料があれば、それまでに教えて欲しい。

現在技師会で使用中のPC(2台)のリース契約が今年の9月で終了。Windows7のサポートが切れることもあり、新規でリースを組むことも考えている。新規リースは約8,000円/月となり、予算よりも多い出費となる。(再リースは約7,600円/年)

(行森会長) 来年は学会も控えているため、問題が出ないように新規にしたほうが良いと思う
→全員賛成ということで、新規リースとなった。

6) 各地区より本年度活動について

北部地区：現在のところ、予定なし。決まり次第報告。

盛岡地区：7/20(土)第2回研修会でAEDの使い方等を消防署にて行う。

中部地区：今年度開催される医学検査学会の準備中。

南部地区：7~8月に第2回研修会を予定している。検査と健康展の準備も進めていく。

三陸地区：欠席

7) 各学術部門より本年度活動について

輸血検査部門（小田原）：今年度は2～3回の研修会を実技も含めて検討中。内容は精度管理の評価方法についてのアナウンスを含めたもの等。実技の会場は医大の移転があるため会場は未定。

遺伝子検査部門（小原）：研修会は年2回を目標に準備していく。各分野と連携して（合同研修会等含め）計画していきたい。

感染制御部門（成田）：8/24第1回研修会、10月・12月に研修会を予定している。

生理検査部門（舘野）：超音波認定の基礎内容の研修会を10月に予定している。他1回の開催を予定。県立病院内のテレビ会議システム等を利用したサテライト会場も検討中。遺伝子検査との合同研修会も企画したい。

総合部門（小野寺）：岩臨技精度管理報告会の後に行う研修会を計画しており、他1回の研修会も予定している。DVT検診については、今年度行うか未定。

一般検査部門（下川）：1～3回の研修会を予定。岩臨技のサーベイは、今年度も4県合同のフォトサーベイを予定している。

前回のサーベイ報告会終了後に、不適問題に正解・不正解を併記しないで欲しいという問い合わせがあったが、日臨技サーベイの報告様式に合わせて、岩臨技での報告でも行っていく。

意見：（小原）岩臨技の定款に組織としての遺伝子検査の部門が無いです。

回答：（行森）日臨技にもできて間もない分野である。今後、定款の改定を予定していくということで、了承して頂きたい。

III その他

- ・第24回岩手県医学検査学会（高橋）

開催日：令和1年11月17日(日) テーマ「平和から令和へ～新時代の臨床検査～」

会場：日本現代詩歌文学館（北上市）

10:00～16:30の予定で、一般演題・技術セミナー・公開講演（国立天文台水沢の田崎氏）、抽選会を予定している。一般演題は7/31の締め切りを予定しているが、まだ募集はない。機器展示は6社を予定。一般演題の呼びかけをお願いします。ポスターを作製した。

北上広報にも依頼予定。

- ・第9回北日本支部医学検査学会（行森）

開催日：令和2年10月17・18日(土・日) 会場：アイーナ（いわて県民情報交流センター）

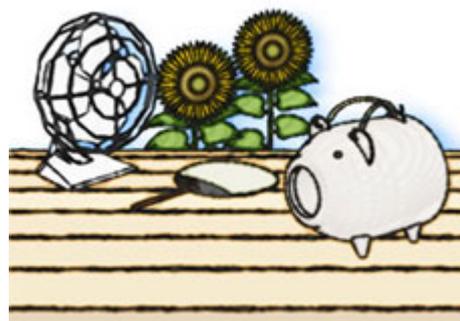
実行委員長：畠山秀樹、事務局：菊池英岳、川村将史、会計等は今後決めていく。

例年通り、抄録は作成せずプログラムは作成し発送。まずは10月の山形で行われる学会の視察を予定。

- ・2020年日本医学検査学会の演題登録が9/1から始まります。

- ・HP作成等について（株式会社ぴーぶる 新井田氏）

HPリニューアルとサイボウズ office の活用について。





今回の『つなぐ』は岩手県立胆沢病院の高橋彩さんです

“つなぐ”

今回県立中央病院の宍戸美里さんから引き継ぎました県立胆沢病院の高橋彩です。美里さんとは大学・県病と同期で、大学から今までとても仲良くしてもらっています。2～3ヶ月に一度は必ず会ってお互いの近況報告をし合う仲です。実はつい5日ほど前にも会っています(笑)前回のつなぐで美里さんに順番が回ってきた時点で、今回は私につなぐが来るのではないかと自意識過剰に構えてはいたのですが、特にネタもなく非常に行き詰っております。おもしろい旅行の話や思い出話も全く浮かんでこないの、ここは平和に私が今年からデビューしたプランター菜園の話しようと思います。

今年の春過ぎ、家で食べる野菜が自分で育てて収穫したものだったら素敵！と急に思い立ってトマトの苗を買いました。トマト栽培の難易度が低いことは知っていたので、やったこともないのになぜかあと何種類かいけると思い、その後ナスとピーマンの苗も手に入れました。トマトは私ではなく鳥に初収穫を奪われるというアクシデントこそありましたが、収穫まで辿りつくことができました。ピーマンは水をあげる以外の世話をしていないにもかかわらず、立派に育ってくれて本当に手のかからない子でした。とてもいい子です。

このようにトマトとピーマンは無事に収穫まで辿り着いた

のですが、ナスが未だ一向に実がなる気配がありません。毎日愛情込めて水をやり、たま～～

～～に肥料をあげてみたりしたのですが、一体なにがいけなかったのでしょうか。まだ猶予があるので(現在7月終盤)、諦めずに愛情を注いでみようと思っています。野菜作りに詳しい方がいらっしゃいましたら、ぜひナスの育て方を教えていただきたいです。収穫したトマトとピーマンはおいしくいただきました。かわいがって育てた野菜はやはり格別においしいような気がします。完全に精神論です(笑)これを機会にあまり野菜好きではないのですが、毎年様々な野菜を育てることで様々な野菜と仲良くなれたらと思っています。

次回は川久保病院の佐藤拓さんにつなぎたいと思います。



(い わ て)

高校の同級生で同じクラスだったこともあり(このころはあまり…苦笑)、社会人になり再会し仲良くしてもらっております。長らく県立病院でつながっていましたが、次回拓さんがこのつなぐに新鮮でさわやかな風を吹かせてくれることと思います。拓さんは本気のディズニーファンなので、次回のつなぐではディズニー好きの方必見の情報が盛りだくさんだと思います。お忙しい中引き受けて頂いてありがとうございます、よろしくお願いします!!!



おしらせ

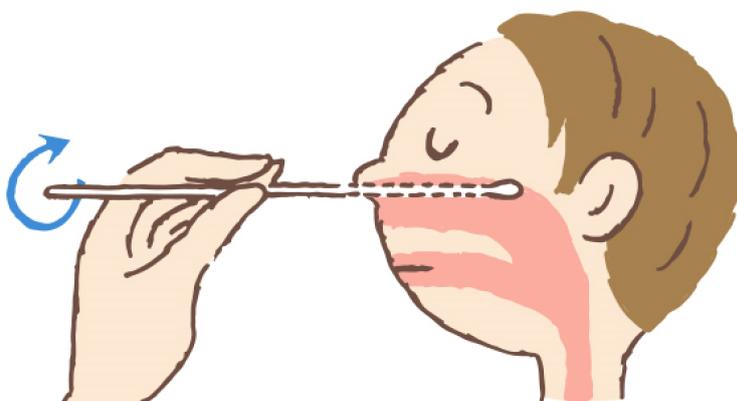
日本臨床衛生検査技師会より検体採取等に関する講習会の受講促進のお願いがきています。

内容は以下の通りです。

『検体採取の講習会に関しましては、厚生労働省告示で一般社団法人日本臨床衛生検査技師会が実施する講習会が指定され、平成 27 年 1 月から 5 年間を目途に、臨床検査技師国家試験合格者を対象に全 9 ブロックで開催してまいりました。令和 1 年 5 月末受講者は本会会員の約 7 割に相当する 4.5 万人、非会員を含めると約 5 万人となっており、各都道府県の受講率は 58%から 84%と乖離が生じています。

先の厚生労働省の事務連絡(平成 30 年 12 月 12 日付)により、平成 28 年 4 月 1 日以降に入学・入所した学生・生徒からは新たな教育内容が教授されていることから、厚生労働大臣が指定する研修を受ける必要はないと通知されております。よって、現在 9 ブロックで開催している講習会は回数を縮小するとともに、厚労省指定講習会の開催を今年限りと考えています。今後は未受講者の会員に受講を促し、会員全員が受講されますよう、周知徹底ならびに関係者への協力の要請方宜しく願いいたします。』

ということでした。



ま だ
検 体
採 取
等 の
講 習
会 を
受 講
し て
い な
い 方

(い わ て)

は受講されますようお願いいたします。

詳細は一般社団法人日本臨床衛生検査技師会のホームページ等をご覧ください。



登山同好会からレポートとどいてます。

5月25日（土）、天候晴れ、今年度最初となる足慣らし登山を花巻市東和町の砥森山（648m）で行いました

メンバーは検査技師、薬剤師、放射線技師、看護師、MSWの10名でした。

砥森山は全員が初めてで、看板では1時間で登頂と書いてあったので舐めてかかっていたのですが、急登もあり実際はそれ以上かかってしまいました。



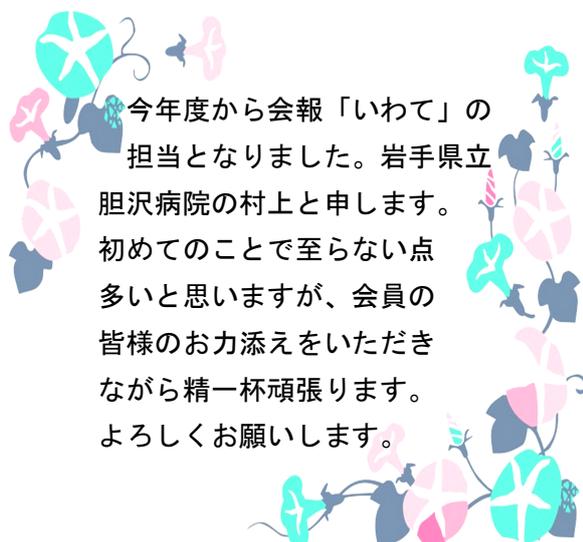
頂上では昼食とそれぞれが持ち寄ったお菓子などを交換しながらお腹を満たし、下山は淡々と下り山の獣人と出会ったり、怪我人が出ることもなく明るいうちに帰宅することができました。

岩臨技企画はここ数年企画倒れになっていますが、何とか実現したいと思っています。



皆さんの妙案をお願いします

～編集後記～



今年度から会報「いわて」の
担当となりました。岩手県立
胆沢病院の村上と申します。
初めてのことで至らない点
多いと思いますが、会員の
皆様のお力添えをいただき
ながら精一杯頑張ります。
よろしくをお願いします。

会報「いわて」第 326 号 2019.8

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：行森 良一

事 務 局：下川 波歩

編集責任者：村上 美月

山崎 勝登志

〒020-8505 盛岡市内丸 19-1 岩手医大中検内

Tel.(019)651-5111 内線 3746 Fax.(019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp